

経済学部

経済学科

経済学部での学び

経済学部では経済社会における人々、企業、政府の意思決定の在り方とその選択が社会に与える影響を理解し、多様化する社会課題を解決できる人材を育成します。

講義や演習を通じて理論分析による仮説の提案方法、データおよびフィールドワークによる検証方法を学び、経済に関するさまざまな課題に取り組みます。これらの学びを通じて、現在の日本経済や東北経済の状況を分析し、その動き(メカニズム)を理解する力、将来の経済動向を予測する力、政策提言できる力を身につけます。

経済学部をもっと知る



Admission Policy

入学者受け入れの方針 アドミッション・ポリシー

- 東北学院大学の教育理念である「キリスト教による人格教育」を基礎とする教育プログラム(聖書とキリスト教に関する授業及び大学礼拝など)について理解し、主体性を持つつ多様な人々と協働して学ぶことを強く望んでいる。(主体的に学ぶ態度)
- 経済学部の教育理念・目的や教育内容を理解した上で、経済に関する社会事象を学ぼうとする関心と意欲を持ち、人間と社会が抱える諸問題を解決するための主体的な学びを強く望んでいる。(主体的に学ぶ態度)
- 高等学校における学習によって、経済学部での学修に必要な高等学校卒業相当の基礎的知識及びそれらを応用する力を有している。(知識・技能)

- 高等学校において得た知識・技能を活用し、達成すべき水準の思考力及び日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。(思考力・判断力・表現力)
以下の項目に該当する者については、5又は6を評価に加える。
- スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後も課外活動の活性化に貢献しようと考えている。
(知識・技能／主体的に学ぶ態度)
- 外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。(知識・技能／主体的に学ぶ態度)

「教学上の方針」の詳細は
こちらからご確認ください



経済学部

学科HP



担当教員



Department of Economics

理念・目的

キリスト教精神と幅広い教養教育を基礎に、経済学の専門的知識を修得し、時代に流されず、先を見通す経済社会の理論とスキルを身に付け、多方面において社会に貢献できる人材を養成する。

専門分野

理論コース

経済学の理論をより深く理解するとともに、さまざまな経済思想を学ぶ。

産業・政策コース

現実の経済のさまざまな分野で行われる取引や政策の意味や効果を経済学的に理解する。

社会経済コース

経済現象を時間的・空間的な広がりの中に位置付けて現代経済の諸相を理解する。

		1年次	2年次	3年次	4年次
第1類 専門教育科目	コア(基礎科目)	ミクロ経済学入門Ⅰ・Ⅱ 経済データ入門Ⅰ・Ⅱ マクロ経済学入門Ⅰ・Ⅱ 日本経済入門 資本主義経済入門Ⅰ・Ⅱ 経済数学Ⅰ・Ⅱ 統計学入門Ⅰ・Ⅱ	資本主義絏済理論Ⅰ・Ⅱ ミクロ絏済学Ⅰ・Ⅱ マクロ絏済学Ⅰ・Ⅱ 絏済統計学Ⅰ・Ⅱ 計量絏済学Ⅰ・Ⅱ		
		総合演習			
第2類 専門教育科目	演習	演習Ⅰ	演習Ⅱ	演習Ⅲ	
	理論		ゲーム理論Ⅰ・Ⅱ 行動経済学Ⅰ・Ⅱ 経済動力学理論Ⅰ・Ⅱ 開発経済学Ⅰ・Ⅱ	金融論Ⅰ・Ⅱ 金融システム論 金融政策論 地域金融論	国際金融論Ⅰ・Ⅱ 国際経済学Ⅰ・Ⅱ 経済学特殊講義Ⅰ
	産業・政策		応用計量分析Ⅰ・Ⅱ 産業組織論Ⅰ・Ⅱ 労働経済学Ⅰ・Ⅱ 財政学Ⅰ・Ⅱ	財政システム論 公共経済学 公共選択論	地方財政論 経済政策論Ⅰ・Ⅱ 都市経済学Ⅰ・Ⅱ 環境経済学Ⅰ・Ⅱ
	社会絏済		政治経済論Ⅰ・Ⅱ 日本産業論 情報経済論Ⅰ・Ⅱ 日本経済史Ⅰ・Ⅱ 地域経済論 西洋経済史Ⅰ・Ⅱ 経済立地論 日本経済論	東北開発論 農業経済論Ⅰ・Ⅱ 経済学特殊講義Ⅱ	
第3類					卒業研究 卒業試験
第4類	英語による 経済学	外国書講読Ⅰ・Ⅱ Business and Financial English I・II Seminar A	Seminar B Seminar C		
第5類	資格講座	ファイナンシャル・プランナー講座Ⅰ・Ⅱ キャリア形成論	ファイナンシャル・プランナー講座Ⅲ・Ⅳ 公務員試験経済学講座Ⅰ・Ⅱ		
第6類	情報・通信基礎工学	アルゴリズム論	データサイエンス 人工知能 簿記学Ⅰ・Ⅱ	民法Ⅰ・Ⅱ 会社法Ⅰ・Ⅱ 経営学総論Ⅰ・Ⅱ	

Topics

学科の特色1

東北に視点を据えた経済学 地域経済の重要性と課題解決策を学ぶ

「東北経済論」では、近現代の日本における東北経済の変遷やその位置づけについて学びます。また、「東北開発論」では、東北地域で行われてきた開発政策を振り返り、これからの地域づくりや将来の展望について考察します。これらの講義を通じて、地域経済の重要性を紐解くだけでなく、今日顕在化している第一次産業の衰退や地域産業の扱い手不足といった課題について、歴史的背景からその要因を探り、解決策を考えます。東北に視点を据えた経済学を学べる環境は、東北に深く根差した本学ならではの大きな特長です。



Topics

学科の特色2

ミクロ経済学から見るSDGs 持続可能な企業戦略・まちづくりを考える

SDGsに基づくまちづくりや企業戦略を、今日の国内外の経済状況を踏まえつつミクロ経済学的視点から研究します。持続可能な発展を実現するために、企業がどのように環境や社会の要素を戦略的に取り入れるか、自治体がどのように住民のニーズに応じたまちづくり戦略を設計するかを学生一人ひとりが考え、分析し、提案できる力を培います。研究を実践に活かすために、毎年まちづくりコンテストや日本経済新聞主催のSTOCKリーグにも挑戦しています。失敗も学び、成長のための大切なステップです。学びを求め、果敢にチャレンジする学生をお待ちしています。



経済低迷脱却のカギは「非認知能力」 懸賞論文入賞は学びの励みに

3年 梶川 隼和さん

(宮城県／気仙沼高等学校出身)

2年次に、みずほ学術振興財団「第65回懸賞論文」で3等に入賞したことは忘れない思い出です。テーマは「日本経済の長期低迷と人的資本投資」。「失われた30年」と呼ばれる低迷の要因の一つが、リーダーシップや積極性といった「非認知能力」の低さにあると考え、検証を試みました。学力テストなどでは測れない非認知能力の数値化に非常に苦労しましたが、アメリカの研究にある一つの指標にたどりつき論文にまとめることができました。このテーマは引き続き追究し、深め、卒業論文にまとめる予定です。

小中学校時代、勉強は宿題をする程度。自分は勉強が嫌いだと思い込んでいましたが、大学で初めて「学ぶ楽しさ」を知りました。思いっきり学びに時間を使える今は、人生の中で贊沢な時間。大学で得た力を活かして、卒業後はふるさとの地域活性化に貢献したいです。



NEXT

続きは
こちらから

